

健康に留意し「日日是好日」の気分で平凡な日々を楽しみたい

神戸〈ゆうゆうの里〉

鳥井利治様（71歳）平成31年3月 一人入居



職場の人間関係も大事にした
仕事人間

5人兄弟で僕は末っ子。兄が一人、姉が3人います。両親が共働きだったので、かぎつ子でした。二番目の姉が特に母親のように面倒を見てくれました。就職後は、工場勤務時代があつて、EDPと言われるコンピュータシステムの開発や運用を担当しました。学校でプログラムを習つたこともなく、自分で猛勉強をして給与計算のプログラムを作成しました。その後

の支店勤務時代は毎日22時前に帰ることが多く、子供とも余り遊びなかつたです。支店では、「オアシス」※運動を推進しました。挨拶や感謝に加えて、素直に謝る気持ちを言葉にすることが職場の人間関係には大事だと思ったからです。

妻のため、子供たちのために僕ができること

「ウェアとスニーカーは息子、娘から届いたプレゼントです」

妻は辛抱強く、人の悪口を言わない人でよく家庭を守ってくれました。その妻が38歳の時に皮膚癌が見つかり、僕は担当医からインパに転移していることを告げられました。それから本人にも家族にも告知せず、僕の癌との戦いが始まりました。いくつも病院を当たり治療法を調べた結果、高知大學に特別な免疫療法があることを知り、何度も通つて治療をお願いしました。最後は先生が根負けして治療が始まりました。こうして最善を尽くしたにも関わらず妻は逝きました。その時息子が中学3

子どもたちは「一人とも精神的にとても自立していく助けられました。息子、娘ともに結婚して子どもには恵まれた時には、これで親の務めは終わつたとほつとした気持ちになりました。妻のため、子供たちのために僕ができること

その後、僕は病気をいくつもしました。まずは六甲山頂上付近を歩いていた時に足首を骨折しました。腎臓ガン手術は二回も。大変だったのは手術後の食事の管理でおかげで腎臓ガンを発見できました。腎臓ガン手術は二回も。大変なりたいですね。年齢を重ねるとともに自分で自分を幸せにしていける人です。一日のルーティンは一日8000歩を目標にウォーキング。ルートは決まって中間地点のマクドナルドに立ち寄ります。マクドナルドにはWi-Fiがあるから、ゆっくりコーヒーを飲みながらスマートフォンでYouTubeやTikTokの動画を見るのも楽しみです。それから、またぐるつと、万代スープーまで歩いて帰ってきます。曜日によって、近隣のシルバー・カレッジ、老眼大学、神戸新聞文化センターの企画にも参加します。シルバー・カレッジでは「健康福祉コース」を専攻しています。セミナーに参加したら、へゅうゆうの里のスタッフが一番良かつた。商売つ気を出さず（笑）に、しつ

健康福祉を学びながら
目指すは「幸齢者」

高齢者ではなく、「幸齢者」になります。年齢を重ねるとともに自分で自分を幸せにしていける人です。一日のルーティンは一日8000歩を目標にウォーキング。ルートは決まって中間地点のマクドナルドに立ち寄ります。マクドナルドにはWi-Fiがあるから、ゆっくりコーヒーを飲みながらスマートフォンでYouTubeやTikTokの動画を見るのも楽しみです。それから、またぐるつと、万代スープーまで歩いて帰ってきます。曜日によって、近隣のシルバー・カレッジ、老眼大学、神戸新聞文化センターの企画にも参加します。シルバー・カレッジでは「健康福祉コース」を専攻しています。セミナーに参加したら、へゅうゆうの里のスタッフが一番良かつた。商売つ気を出さず（笑）に、しつ

年、娘は小学5年でした。妻が亡くなつてから、子どもたちの為に僕が毎日お弁当を作りました。仕事の合間にぬつて授業参観にも出ました。

かり治療食の相談に乗つてくれたのはここだけでした。体験入居の時、初めて食堂に行くと職員が「鳥井さん」と名前を呼んでくれました。こちらに入居して食事という一番のストレスから解放されました。

※「（オ）おはよう、（ア）ありがとう、（シ）失礼しました、（ス）すみません」